

大介

大介

大介

大介

大介

DRC
ロマネ・

大介「（ぼそつと）せめて、2日前に分かつ

て、たらの香りをゆつくりと嗅ぎ、目を瞑
り、インの香りとワインを口に流し込む。
幸せそうな笑顔が浮かべる。部屋を出て行
く。大介は、さうに騒がしい。干し、

○ 同・書斎（朝）

大介「引き出しから紙とペンを取り出し、
紙に『最高級ワインあり。楽しんで、』と
大きに字で書く。紙にテープを貼り、紙
を持つて出て行く。

○ 同・玄関（朝）

大介「紙を靴棚に置き、靴箱から綺麗な
革靴を出し、靴を使つて革靴を履く。
外は騒がしい。靴べらを使つて革靴を履く。
紙を持ち、大きく深呼吸し、外に出る。

○ 同・前（朝）

大介「紙を持つて出て来る。人々は暴

れ、火事などが起つており、人々は暴
れ回り、火事などが起つており、人々は暴
れ、火事などが起つており、人々は暴

男性「（周りに）酒だ！」「その隙に歩いて

行く。大介は、家の方を一瞥し、その隙に歩いて

○ 大通り（朝）

大介は、荒れ道に真ん中を歩いている。周

大介「（周りに）酒だ！」「その隙に歩いて

大介「（周りに）酒だ！」「その隙に歩いて

合の陰！ 謀 隕石なんてのは嘘だ！ 世界連合の
 せい、外を見えるんだ！ 世界連合の
 大平、スーツを持ってやって来る。
 大平、今、着てもいいか？
 大平、スーツを着て、試着室に入る。
 大平、完璧だ。新品のスーツを着て、出て来る。
 大平、スーツは梱包なさいますか？
 大平、大丈夫だ。もう、着ることは無い。
 大平、お題は結構です。財布を取り出すことはあ
 大平、それ、内ポケットに財布を入れる。
 大平、それ、外を見ながら、最高の最後を迎えら
 大平、私、です。最後のお客様が、貴方で良
 大平、ここにどうぞ、ありがとうございます。
 大平、カメラ、出される。ドンと引いていき、地球が
 地球、地球に、地球に向かって飛んできて
 大きな隕石、地球に向か